

平成27年度 東日本高速道路株式会社 事業評価監視委員会

【複合事業の委任審議・合同審議結果について】

東日本高速道路(株)

平成27年12月22日

あなたに、ベスト・ウェイ。



複合事業の委任審議・合同審議について



1. 複合事業の委任審議・合同審議について

一般国道468号首都圏中央連絡自動車道(川島～五霞)、(金沢～戸塚)の2区間については、国土交通省関東地方整備局との複合事業であり、川島～五霞については事業の初期段階からNEXCO東日本が関わっておらず、金沢～戸塚については事業の初期段階から関わっているところ。

『東日本高速道路株式会社事業評価委員会運営要領』により、関東地方整備局との協議を踏まえ、川島～五霞については、関東地方整備局の事業評価監視委員会に審議を委任するものであり、金沢～戸塚については、同事業評価監視委員会に東日本高速道路株式会社事業評価監視委員会委員を加えて合同で審議を行うものである。

東日本高速道路株式会社事業評価委員会運営要領第6条

複合事業について、再評価に係る対応方針(原案)は当該事業の全事業主体が協議して作成し、審議方法は個別案件の内容に応じて次の方法を基本として、事業主体の長が協議して定める。

- 一 個別案件について、初期段階から関わっていない事業主体は、初期段階から関わっている事業主体の事業評価監視委員会に当該案件の審議を委任する。
- 二 個別案件について、複数の主たる事業主体の事業評価監視委員会で審議対象事業として抽出された場合には、1つの事業評価監視委員会に他の事業評価監視委員会委員を加えて合同で審議を行う。

2. 複合事業の委任審議・合同審議対象事業について

審議方法	路線名	区間	区分	延長	所在地	事業者	会社 施行区分
委任 審議	一般国道468号 首都圏中央連絡自動車道	川島～五霞	一般国道	32.3km	埼玉県 茨城県	国土交通省 NEXCO東日本	舗装・施設
合同 審議	一般国道468号 首都圏中央連絡自動車道	金沢～戸塚	一般国道	8.9km	神奈川県	国土交通省 NEXCO東日本	舗装・施設・土 工・TN・用地

複合事業の委任・合同審議について

3. 関東地方整備局 事業評価監視委員会 委員名簿

委員長	家田 仁	東京大学・政策研究大学院大学教授
委員	朝香 博	東京商工会議所地域振興部長
	池邊 このみ	千葉大学大学院園芸学研究科教授
	大野 栄治	名城大学都市情報学部教授
	楓 千里	株式会社JTBパブリッシング取締役ノジュール事業担当
	加藤 一誠	慶應義塾大学商学部教授
	蟹澤 宏剛	芝浦工業大学工学部建築工学科教授
	清水 義彦	群馬大学大学院理工学府教授
	鈴木 誠	東京農業大学地域環境科学部造園科学科教授
	堤 マサエ	山梨県立大学名誉教授
	横木 裕宗	茨城大学工学部都市システム工学科教授
若松 加寿江	関東学院大学理工学部教授	

(敬称略 五十音順)

複合事業の委任審議結果について

4. 複合事業の委任審議結果について

一般国道468号 首都圏中央連絡自動車道(川島～五霞)

◇関東地方整備局 事業評価監視委員会(第4回)

日 時:平成27年10月28日(水)16:00～18:00

場 所:関東地方整備局 さいたま新都心合同庁舎2号館 14階 災害防災対策室

◇審議結果

都道府県	事業名	事業延長	再評価の理由	対応方針(原案)	審議結果
埼玉県 茨城県	一般国道468号 首都圏中央連絡自動車道 (川島～五霞)	32.3km	社会情勢の急激な変化・技術革新等により再評価の実施の必要が生じた事業	事業継続	対応方針(原案)のとおり了承

委任審議対象事業の目的と計画の概要

■一般国道468号 首都圏中央連絡自動車道(川島～五霞)

<目的>

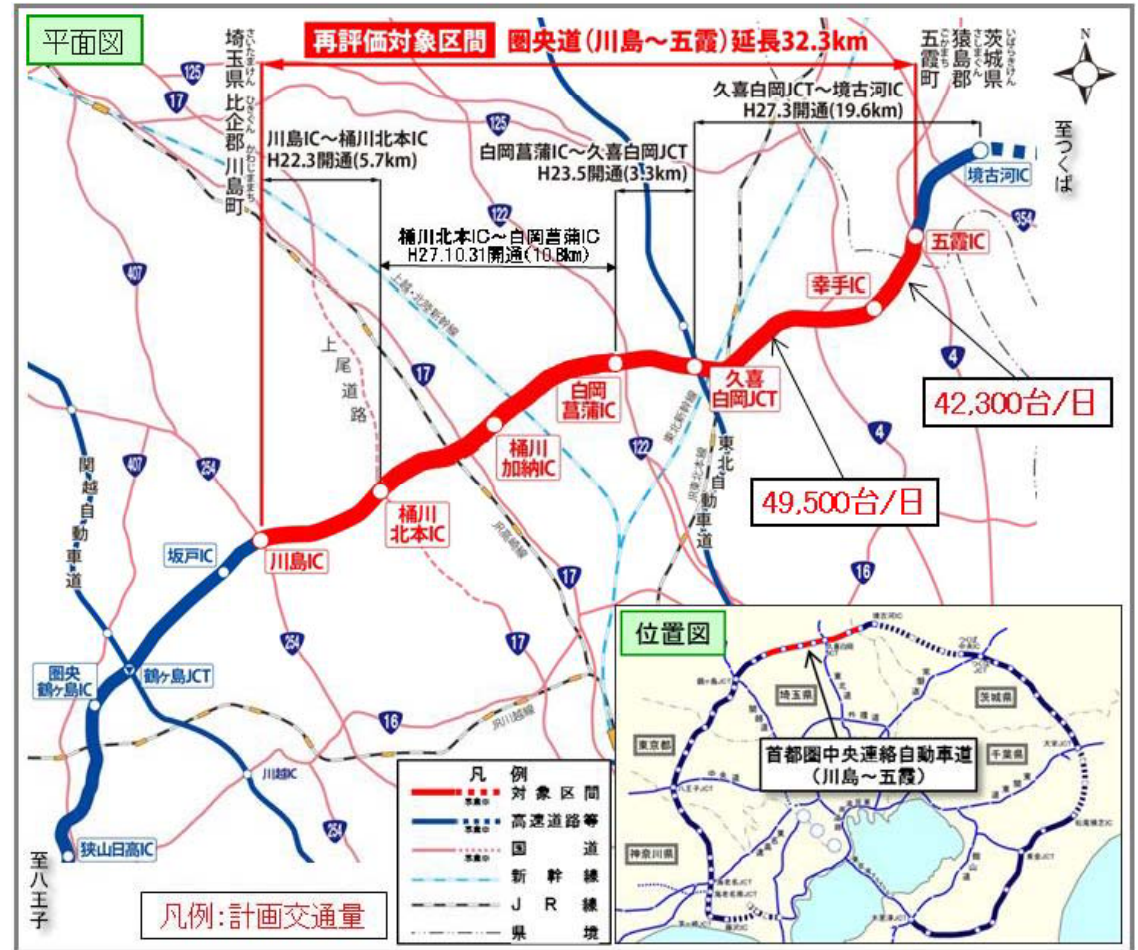
- 埼玉県内の東西方向の幹線機能強化
- 高速ネットワークの形成
- 沿線の地域づくり支援、活性化

<計画の概要>

区 間: 自)埼玉県比企郡川島町
至)茨城県猿島郡五霞町

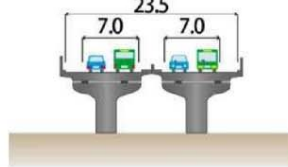
計画延長: 32.3km
幅 員: 23.5m
道路規格: 第1種第2級(川島IC～久喜白岡JCT間)
第1種第3級(久喜白岡JCT～五霞IC間)
設計速度: 100km/h(川島IC～久喜白岡JCT間)
80km/h(久喜白岡JCT～五霞IC間)

車 線 数: 4車線
計画交通量: 42,300～49,500台/日
事 業 化: 平成6年度
事 業 費: 約5,033億円

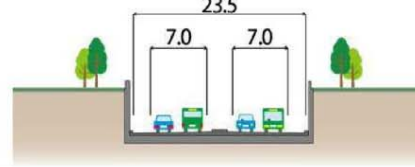


標準横断面

橋梁部(単位: m)
川島IC～久喜白岡JCT間
23.5



掘割部(単位: m)
川島IC～久喜白岡JCT間
23.5



橋梁部(単位: m)
久喜白岡JCT～五霞IC間
23.5



複合事業の合同審議結果について

5. 複合事業の合同審議結果について

一般国道468号 首都圏中央連絡自動車道(金沢～戸塚)

◇関東地方整備局 事業評価監視委員会(第4回)

日時:平成27年10月28日(水)16:00～18:00

場所:関東地方整備局 さいたま新都心合同庁舎2号館 14階 災害防災対策室

備考:特別委員として青山委員が出席

◇関東地方整備局 事業評価監視委員会(第5回)

日時:平成27年11月25日(水)16:00～18:00

場所:関東地方整備局 さいたま新都心合同庁舎2号館 14階 災害防災対策室

備考:特別委員として青山委員が出席

◇審議結果

都道府県	事業名	事業延長	再評価の理由	対応方針(原案)	審議結果
神奈川県	一般国道468号 首都圏中央連絡自動車道 (金沢～戸塚)	8.9km	再評価実施後 3年間経過	事業継続	対応方針(原案) のとおり了承

合同審議対象事業の目的と計画の概要

■一般国道468号 首都圏中央連絡自動車道(金沢～戸塚)

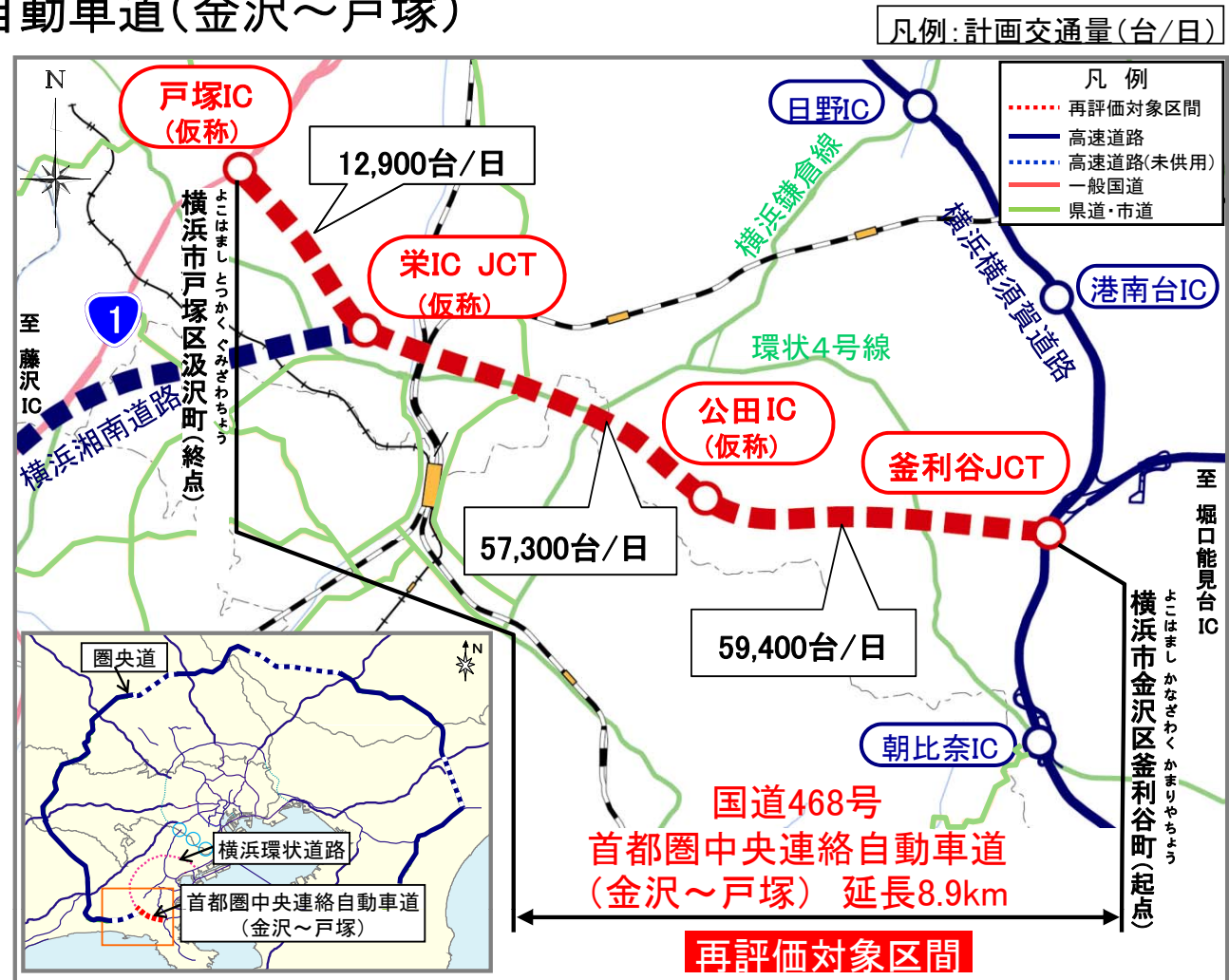
<目的>

- 交通の流れの適正化
- 物流・都市拠点の連絡強化
- 安全・安心な国土づくり

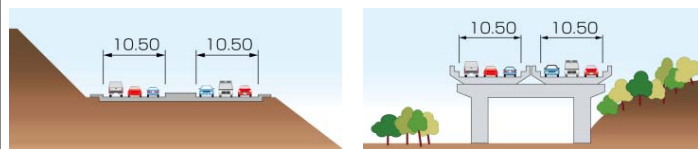
<計画の概要>

区 間：自)神奈川県横浜市
金沢区釜利谷町
至)神奈川県横浜市
戸塚区汲沢町

計画延長：8.9km
幅員：27.50～29.00m
道路規格：第1種第3級
設計速度：80km/h
車線数：6車線
計画交通量：12,900～59,400台/日
事業化：昭和63年度
事業費：約4,720億円



土工部断面図(単位:m) 高架部断面図(単位:m)



トンネル部断面図(単位:m) 掘割部断面図(単位:m) シールド部断面図(単位:m)

